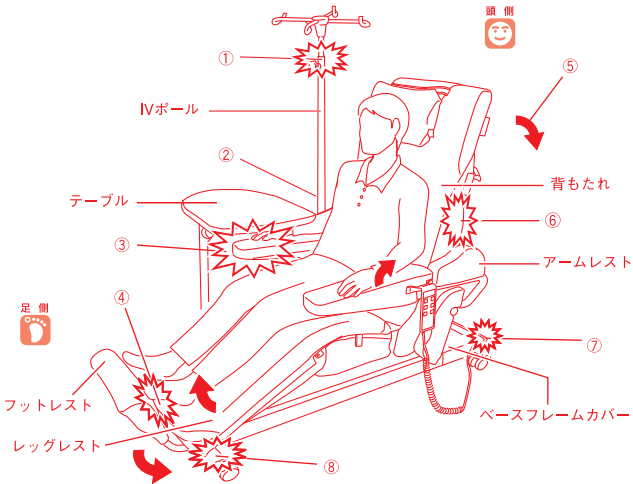


機械器具1 手術台及び治療台
一般医療機器 診療・処置用椅子 16437000
透析・化学療法向けチェア *L'za*「エルザ」(KA-8251)

【警告】

- 以下の可動部に身体の一部（特に頭や首）が入らないように注意してください

[すき間にはさまれたり、入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。]



- ①背もたれとIVポール(KC-56:別売 以下、IVポール)とのすき間。
- ②背もたれとテーブル(KF-8251:別売 以下、テーブル)とのすき間。
- ③レッグレストとテーブルとのすき間、およびテーブルの支柱と座面・レッグレストのすき間。
- ④フットレストとレッグレストのすき間。
- ⑤背もたれと壁やものとのすき間。
- ⑥背もたれとアームレストのすき間。
- ⑦アームレストとベースフレームカバーのすき間。
- ⑧フットレストとゆかとのすき間。

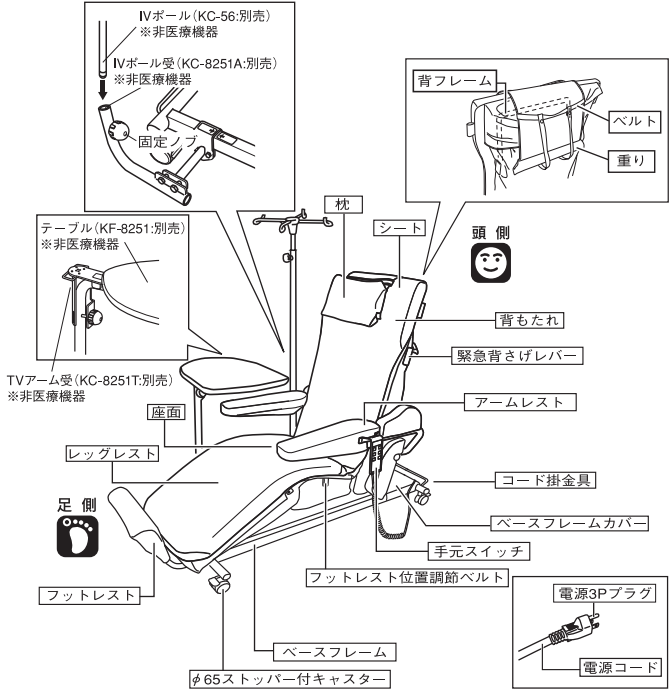
【禁忌・禁止】

- 小児(12歳以下)には使用しないでください

[本製品は、小児(12歳以下)向けには設計されていません。アームレストなどのすき間にはさまれたり、転落してけがをしたりするおそれがあります。]

【形状・構造及び原理等】

■各部の名称



■主材料

フレーム	スチール（エポキシ樹脂塗装）
表側地	塩化ビニルレザー
クッション材	ウレタンフォーム

■動作原理

- 背もたれあげ・さげ・レッグレストあげ・さげ：電動リニアアクチュエーターの伸縮によるリンク機構

【使用目的又は効果】

採血、透析等で使用されることを目的とした椅子。

【使用方法等】

- 取扱説明書に記載されている方法で設置してください。
- 記載されていない使用方法などについては、取扱説明書をご参照の上行ってください。

1) アームレスト

- アームレストは、チェア状態では肘掛けや上肢台として使用できます。アームレストを外側へ開くと、より楽な姿勢で穿刺や採血ができます。
- チェアへ乗り降りする際は、アームレストを外側に開いたり、上方へはねあげたりすることができます。
- アームレストは背もたれと連動して動き、背もたれを水平にするとアームレストもさがります。

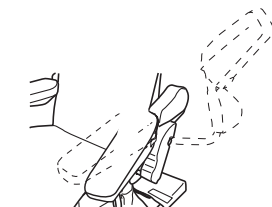
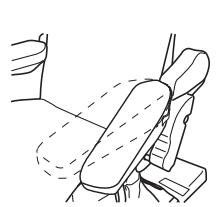
※チェア状態

※水平状態



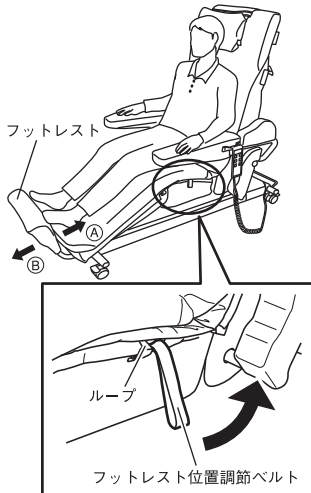
※アームレストの開閉

※アームレストのはねあげ



2) フットレストの位置調節

- フットレストの位置を調節することで、身体のずれを修正したり大腿部裏の圧迫を予防したりすることができます。



- (A)方向へ動かすときは、フットレスト位置調節ベルト(以下、ベルト)を上引きあげてください。フットレストが自動で動きます。

- (B)方向へ動かすときは、ベルトを上引きあげながら、患者自身がフットレストを足で押して、好みの位置でベルトを離してください。

※フットレストはベルトを離れた位置で固定されます。

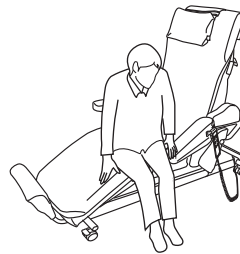
3) チェアへの乗り降り

- 乗り降りの方法



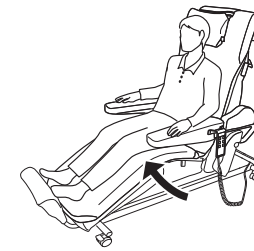
- ①乗り降りをする前に、チェアを下記のように動かしてください。

背もたれ : 一番上まであげる
レッグレスト : 一番下までさげる



- ②アームレストの先端を外側に開き、チェアの側面から乗り降りしてください。

※より広いスペースが必要なとき、車いすなどを近付けたいときは、アームレストを開いた後、上方へはねあげてください。

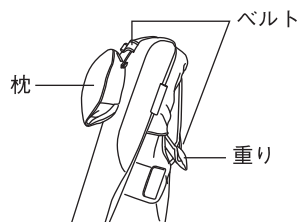


- ③開いたアームレストを閉じてください。

※アームレストをはねあげた場合は、アームレストをさげた後、開いたアームレストを閉じてください。

4) 枕の位置調節

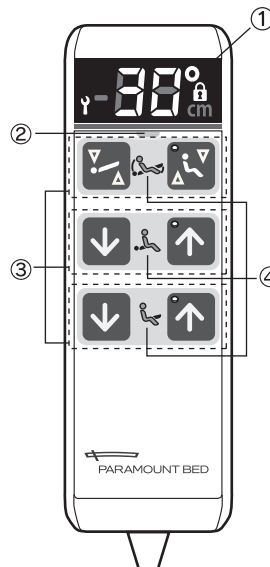
- チェアを使用する方の体格に合わせ、枕をあげ・さげすることで位置を調節することができます。



- 枕は患者が片手で位置を調節しやすいよう、重りでバランスをとるフリーストップ枕を採用しており、背もたれの表・裏のベルトに重りを通して取付けています。

5) 手元スイッチの操作方法

- 手元スイッチ操作によって、チェアの背もたれ、レッグレストの角度を無段階に調節できます。(取扱説明書 21~28ページ参照)



①表示パネル

動作中の背もたれ・レッグレストの角度を表示します。

②電源ランプ

点灯 (緑) : 正常な状態です。

消 灯 : 電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電・断線などの場合です。

点滅 (赤) : 断線や障害物との接触などの異常を表示しています。

③操作ボタン

ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。また、同時に2つ以上のボタンを押した場合も止まります。

④操作選択ランプ

操作ボタンの「有効 (操作可能) / ロック (操作禁止)」をお知らせします。

点灯 (白) : 操作が可能な状態です。

消 灯 : 電源がOFF、もしくは操作が禁止状態です。

■操作ボタン または を押した場合はあがる動作、 または を押した場合はさがる動作をします。



連動あげボタン(チェア)

背もたれとレッグレストを同時に動作させ、チェア状態にします。

連動さげボタン (水平/傾斜)

背もたれとレッグレストを同時に動作させ、水平もしくは傾斜状態にします。

※水平状態＝背もたれ角度0° かつレッグレスト角度0°
傾斜状態＝背もたれ角度0° 以下かつレッグレスト角度0° 以上



背もたれのあげ・さげボタン

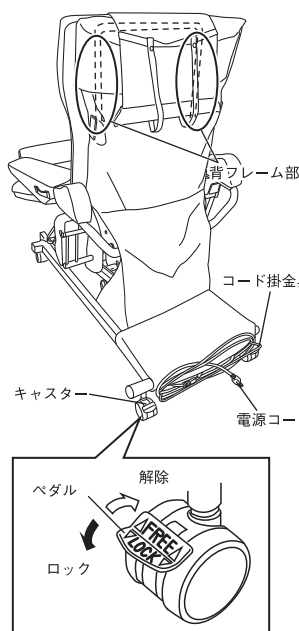
背もたれの角度調節ができます。



レッグレストのあげ・さげボタン

レッグレストの角度調節ができます。

6) チェアの移動方法



①チェアを移動する前に、チェアを下記のように動かしてください。

背もたれ : 一番上まであげる
レッグレスト: 一番下までさげる

②はねあげたアームレストはさげて、開いたアームレストは閉じてください。

③電源プラグを抜き、コード掛金具に巻きつけてください。

④キャストのペダルを上側に動かしてロックを解除し、キャストがスムーズに回転・旋回することを確認してください。(4ヶ所)

⑤背もたれ内部の背フレーム部を持って、ゆっくりと移動してください。

⑥キャストのペダルを下側に動かしてロックにし、キャストが回転・旋回しないことを確認してください。(4ヶ所)

7) 緊急背さげ機能

■手動緊急背さげ

●貧血などの緊急時や停電時に緊急背さげレバーを操作することで、背もたれを素早くさげることができます。レバーは背もたれ部の両側面にあり、左右どちらのレバーでも操作可能です。

■操作方法

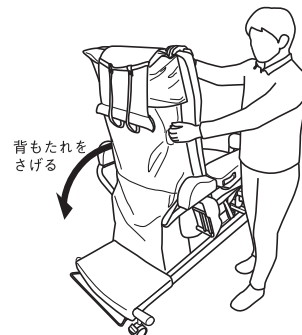
①片手で緊急背さげレバーを引きながら、もう片方の手で背もたれを支えてください。

※患者の体重や背もたれの角度によっては、レバーを引いただけではさがらない場合があります。その際は、もう片方の手で背もたれを押してください。



②背もたれをさげたい位置にくるまで、レバーを引き続けてください。操作の途中でレバーを戻すと、背さげ動作も止まります。背もたれは最大で-12°(傾斜状態)までさげることができます。

※レバー操作で背もたれをあげることはできません。背もたれをあげる際には手元スイッチを使ってください。



■電動緊急背さげ機能

●手元スイッチの連動さげボタンを押すことで、背もたれを素早くさげることができます。

※16秒でチェア状態から傾斜状態にできます。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

●チェアへの乗り降りは、背もたれをあげ、アームレストを開くかはねあげた状態で側面から行ってください

[レッグレスト側から乗り降りすると、バランスを崩して転倒したり、チェアから転落してけがをしたりするおそれがあります。]

[背もたれをさげた状態で背もたれから乗り降りしたりすると、転落・転倒してけがをするおそれがあります。また、安定性が低下し、チェアが転倒してけがをしたり破損・変形したりするおそれがあります。]

[アームレストを閉じたまま乗り降りすると、アームレストが不意に動いたり、身体のバランスを崩したりして転落・転倒し、けがをするおそれがあります。]

●必要時(チェアへの乗り降りや処置)以外は、アームレストをはねあげたり開いたりしないでください

[アームレストが不意に動き転落・転倒して、けがをするおそれがあります。]

[アームレストが不意に落下してけがをしたり、アームレストが破損したりするおそれがあります。]

[ぶつかったり引っ掛かったりして、けがをするおそれがあります。]

- チェアに乗り降りする際は、テーブルに手をついたり、テーブル取付側から乗り降りしないでください

[テーブルが不意に回転し、転倒してけがをするおそれがあります。]

[テーブルに足が引っ掛かるなどして転落・転倒し、けがをするおそれがあります。]

- チェアを移動させるとき以外は、4輪すべてのキャスターにロックをかけてください

[患者がチェアに乗り降りする際などに、チェアが動いてけがをするおそれがあります。]

- チェアを操作する際は、周りの人やもの、患者につながっているラインに注意してください

[チェアの下に潜り込んだり、頭や手・足などを入れたりしていると、チェアの可動部分(ベースフレームや背もたれなど)とのすき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。]

[ベースフレーム・ベースフレームカバーに足などがかかっていると、はさまれて、けがをするおそれがあります。]

[ラインが引っ張られたり、チェアにはさまれてけがをしたり、ラインや機器などが破損したりするおそれがあります。]

- アームレストをはねあげた状態で、背もたれを操作しないでください

[アームレストが不意に倒れ、手や腕などがはさまれて、けがをするおそれがあります。]

- アームレストをあげ・さげる際は、アームレストの先端側を持ったままゆっくりと操作してください

[途中で手を離すとアームレストが急にさがり、手や指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。]

[アームレストの後方を持ってさげると、手や指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。]

- テーブルとTVアーム受を併用した際にできるすき間に注意してください

[手や指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。]

※テーブルの天板は回転します。

- チェアを移動する際は、アームレストをさげてください

[アームレストをはねあげた状態で移動すると、アームレストが不意に倒れ、手や指などがはさまれてけがをするおそれがあります。]

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- アームレストに腰掛けたり、寄り掛かったり、立ちあがる際の支えにしたりしないでください

[体重をかけるとチェアから転落・転倒してけがをしたり、アームレストが破損したりするおそれがあります。]

[アームレストが不意に動き、転落・転倒して、けがをするおそれがあります。]

- アームレストの後方に手をつかないでください

[アームレストがはねあがり、転落・転倒してけがをするおそれがあります。]

- 背もたれ、レッグレストを水平にした状態で、端部に手をついたり、腰掛けたりしないでください

[転落・転倒して、けがをするおそれがあります。]

[安定性が低下し、チェアが転倒してけがをしたり、破損したりするおそれがあります。]

- 操作ができないと思われる方(12歳以下の小児や認知症の方など)に操作させないでください

[操作ができないと思われる方が、1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってチェアに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。]

- ・操作禁止設定で操作を禁止する。(取扱説明書26ページ参照)
- ・電源プラグを抜く]

[手元スイッチで操作禁止設定をしている場合でも、リセット操作をすると、すべての操作ボタンが操作可能な状態に戻ってしまいますのでご注意ください。意図せぬチェアの動作により、けがをするおそれがあります。(取扱説明書28ページ参照)]

- 手動緊急背さげを行う際は、片方の手で緊急背さげレバーを操作し、もう片方の手で背もたれを支えてください

[チェアを使用している方の体重や背もたれの角度によっては、背もたれが急にさがりけがをするおそれがあります。]

- 人を乗せたまま移動しないでください

[移動中に転落し、けがをするおそれがあります。]

- IVボール受(KC-8251A:別売 以下、IVボール受)を取付けた状態で移動する際は、足元に注意してください

[IVボール受に足をぶついたり、はさまれたりしてけがをするおそれがあります。]

- チェアに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください

[チェアが破損して、けがをするおそれがあります。このチェアの安全動作荷重は1600N(163kgf)です。]

※安全動作荷重はチェアを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とオプションなどの付帯物の合計荷重です。

【保管方法及び有効期間等】

1) 保管方法

- チェアの上には何も載せないでください。
- アームレストがはねあがっている場合はさげ、開いている場合は閉じてください。
- チェアに設置しているオプション類はすべて外してください。
- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。温度-10℃～50℃、湿度30%RH～90%RH、大気圧800hPa～1060hPaの環境で保管してください。
- 水平な場所でキャスターのロックをすべて掛けてください。
- 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをコード掛金具に巻きつけてください。(取扱説明書18ページ参照)
- 取扱説明書や添付文書は紛失しないよう、大切に保管してください。

2) 耐用期間

8年【自己認証(当社データ)による】但し、キャスター等の消耗部品は除く。

【保守・点検に係る事項】

1) 点検

＜使用者による保守点検事項＞

■患者をチェアに乗せて使用する前に、各部の操作が正常にできること、異常音がしないことを確認してください。安全にご使用いただくために、1年に1回は取扱説明書に記載された点検項目をチェックして、異常がないことを確認してください。異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合はパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎ 0120-54-8639

※当該製品の修理を行うには、医薬品医療機器等法に基づく修理業の許可が必要となります。

2) お手入れ

■チェア本体の汚れの落とし方

●下記①～③の手順で行ってください。

- ①水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって拭いてください。
- ②水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
- ③乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

■消毒のしかた

●必ず下記の消毒剤を指定の濃度で、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

0.02%～0.05% 次亜塩素酸ナトリウム(ミルトンなど)
76.9%～81.4% 消毒用エタノール

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1) 製造販売業者

■パラマウントベッド株式会社

☎ (0475)81-3000(千葉工場)

2) 販売業者

＜パラマウントベッド株式会社＞

□本社

〒136-8670 東京都江東区東砂2-14-5 東京支店

☎ (03)3648-1171(代)

□札幌支店

〒060-0062 札幌市中央区南2条西13-318-11

☎ (011)271-1181(代)

□仙台支店

〒980-0013 仙台市青葉区花京院2-1-65 花京院プラザ4階

☎ (022)217-7311(代)

□さいたま支店

〒338-0001 さいたま市中央区上落合9-4-7

☎ (048)852-0707(代)

□横浜支店

〒194-0004 東京都町田市鶴間5-3-33

☎ (042)795-8800(代)

□名古屋支店

〒461-0001 名古屋市東区泉1-20-17

☎ (052)963-0600(代)

□大阪支店

〒550-0001 大阪市西区土佐堀2-3-33

☎ (06)6443-8791(代)

□広島支店

〒733-0011 広島市西区横川町3-8-5

☎ (082)293-1311(代)

□福岡支店

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-20

☎ (092)461-1131(代)